

## 平成23年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成22年11月5日

上場取引所 大福

上場会社名 株式会社トータル・メディカルサービス  
 コード番号 3163 URL <http://www.tms-inc.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大野 繁樹

問合せ先責任者 (役職名) 取締役総務部長 (氏名) 小倉 賢一

四半期報告書提出予定日 平成22年11月12日

TEL 092-941-4141

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成23年3月期第2四半期の業績(平成22年4月1日～平成22年9月30日)

#### (1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第2四半期	3,232	—	294	—	282	—	138	—
22年3月期第2四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年3月期第2四半期	302.12	—
22年3月期第2四半期	—	—

(注)当社は、第2四半期の業績開示を当事業年度より行っているため、22年3月期第2四半期の業績及び増減率については記載していません。

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年3月期第2四半期	3,957	1,718	43.4	3,469.06
22年3月期	3,498	1,319	37.7	3,132.29

(参考) 自己資本 23年3月期第2四半期 1,718百万円 22年3月期 1,319百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年3月期	—	0.00	—	50.00	50.00
23年3月期	—	0.00	—	—	—
23年3月期 (予想)	—	—	—	100.00	100.00

(注)当四半期における配当予想の修正有無 無

### 3. 平成23年3月期の業績予想(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,313	1.0	526	14.9	512	11.0	261	12.1	560.22

(注)当四半期における業績予想の修正有無 無

4. その他（詳細は、【添付資料】P.4「その他」をご覧ください。）

(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 無

（注）簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

（注）「四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む） 23年3月期2Q 495,300株 22年3月期 421,200株

② 期末自己株式数 23年3月期2Q 一株 22年3月期 一株

③ 期中平均株式数（四半期累計） 23年3月期2Q 459,072株 22年3月期2Q 一株

（注）当社は、第2四半期の業績開示を当事業年度より行っているため、22年3月期第2四半期の期中平均株式数については記載しておりません。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）3ページ「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期の業績等に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 財政状態に関する定性的情報	2
(3) 業績予想に関する定性的情報	3
2. その他の情報	4
(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	4
(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	4
3. 四半期財務諸表	5
(1) 四半期貸借対照表	5
(2) 四半期損益計算書	7
【第2四半期累計期間】	7
【第2四半期会計期間】	8
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 継続企業の前提に関する注記	10
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10

## 1. 当四半期の業績等に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する定性的情報

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、政策効果や猛暑により一部では回復基調にあったものの、長期化するデフレや円高・株安、海外の景気減速などにより、依然として先行き不透明な状況が続きました。

当社が属する調剤薬局業界におきましては、平成22年4月に薬価の引下げ（平均5.7%（後発医薬品のある先発医薬品の追加引下げ分を含んだ改定率は6.5%））及び調剤報酬の引上げ（0.5%）が実施され、引き続き厳しい環境下にあります。

こうした環境の中、当社は、第1四半期に続き平成22年4月の調剤報酬改定による後発医薬品調剤体制加算の引上げや大型門前薬局の特例の見直しにより調剤基本料が増加したこと等から業績は好調に推移いたしました。

この結果、当第2四半期累計期間の売上高は3,232,909千円となり、売上総利益は540,045千円、経常利益は282,255千円を計上し、四半期純利益は138,696千円となりました。

セグメント別の業績を示すと、次のとおりであります。

#### ①調剤薬局事業

当第2四半期会計期間において1店舗新規開局したこと、既存店舗の処方箋枚数が増加し好調に推移したことから売上高は3,004,367千円となりました。

#### ②その他事業

その他事業における売上高は堅調に推移し228,541千円となりました。

### (2) 財政状態に関する定性的情報

#### ①資産、負債及び純資産の状況

##### (流動資産)

当第2四半期会計期間末における流動資産の残高は2,090,028千円となり、前事業年度末残高1,586,618千円に対し503,409千円増加しました。これは主として、株式上場時の公募による株式の発行及びオーバーアロットメントによる売出しに伴う第三者割当による株式の発行等により現金及び預金が445,097千円、薬価の引下げに備えた前事業年度末の在庫圧縮の反動で商品が28,745千円増加したことによるものであります。

##### (固定資産)

当第2四半期会計期間末における固定資産の残高は1,867,040千円となり、前事業年度末残高1,912,052千円に対し45,011千円減少しました。これは主として、上和白店の新規出店に伴う建物の取得等による増加25,998千円と減価償却等による減少35,830千円との差引きにより有形固定資産が9,831千円、のれんの償却によりのれんが31,974千円減少したことによるものであります。

##### (流動負債)

当第2四半期会計期間末における流動負債の残高は1,660,144千円となり、前事業年度末残高1,503,778千円に対し156,366千円増加しました。これは主として、（流動資産）の商品の増加要因と同様の理由で、医薬品の購入量が増加したため買掛金が111,047千円、未払法人税等が43,350千円増加したことによるものであります。

(固定負債)

当第2四半期会計期間末における固定負債の残高は578,697千円となり、前事業年度末残高675,572千円に対し96,875千円減少しました。これは主として、返済により長期借入金が95,680千円減少したことによるものであります。

(純資産)

当第2四半期会計期間末における純資産の残高は1,718,227千円となり、前事業年度末残高1,319,319千円に対し398,907千円増加しました。これは主として、株式上場時の公募による株式の発行及びオーバーアロットメントによる売出しに伴う第三者割当による株式の発行により資本金及び資本準備金の増加286,322千円、利益剰余金の増加117,636千円によるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期累計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前事業年度末に比べ445,097千円増加し、926,612千円となりました。

各キャッシュ・フローの状況は以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、331,489千円となりました。これは主として、法人税等の支払額が105,453千円あったものの、税引前四半期純利益が277,125千円、減価償却費が40,176千円、のれん償却額が31,974千円、仕入債務の増加額が111,047千円あったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、32,328千円となりました。これは主として、有形固定資産の取得等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果得られた資金は、145,936千円となりました。これは主として、長期借入金の返済による支出が104,292千円、配当金の支払額が21,060千円あった一方で、株式の発行による収入が277,756千円あったことによるものであります。

(3) 業績予想に関する定性的情報

平成23年3月期の業績予想につきましては、概ね計画どおり推移しており平成22年6月24日に発表いたしました業績予想の数値は変更しておりません。

## 2. その他の情報

### (1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

記載すべき重要な事項がありません。

### (2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

第1四半期会計期間から、「資産除去債務に関する会計基準」(企業会計基準第18号 平成20年3月31日)及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日)を適用しております。

この変更による営業利益、経常利益、四半期純利益に与える影響は軽微であります。

## 3. 四半期財務諸表

## (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	当第2四半期会計期間末 (平成22年9月30日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成22年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	967,612	522,514
売掛金	866,649	842,267
商品	186,859	158,113
その他	69,775	64,566
貸倒引当金	△868	△843
流動資産合計	2,090,028	1,586,618
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	548,098	556,367
土地	463,509	463,509
その他(純額)	137,736	139,299
有形固定資産合計	1,149,344	1,159,176
無形固定資産		
のれん	159,872	191,847
その他	51,598	57,596
無形固定資産合計	211,471	249,444
投資その他の資産		
投資有価証券	128,376	136,855
投資不動産(純額)	141,698	142,719
その他	238,796	226,289
貸倒引当金	△2,646	△2,433
投資その他の資産合計	506,224	503,431
固定資産合計	1,867,040	1,912,052
資産合計	3,957,069	3,498,671

(単位:千円)

	当第2四半期会計期間末 (平成22年9月30日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成22年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	970,266	859,219
短期借入金	346,972	351,584
未払法人税等	152,750	109,400
賞与引当金	83,359	72,101
その他の引当金	3,500	6,000
その他	103,296	105,473
流動負債合計	1,660,144	1,503,778
固定負債		
長期借入金	396,565	492,245
退職給付引当金	57,889	54,757
役員退職慰労引当金	62,937	59,797
その他	61,305	68,773
固定負債合計	578,697	675,572
負債合計	2,238,841	2,179,351
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	281,661	138,500
資本剰余金	184,661	41,500
利益剰余金	1,246,199	1,128,562
株主資本合計	1,712,521	1,308,562
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	5,705	10,757
評価・換算差額等合計	5,705	10,757
純資産合計	1,718,227	1,319,319
負債純資産合計	3,957,069	3,498,671



## (2) 四半期損益計算書

【第2四半期累計期間】

(単位：千円)

	当第2四半期累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)
売上高	3,232,909
売上原価	2,692,863
売上総利益	540,045
販売費及び一般管理費	245,905
営業利益	294,139
営業外収益	
受取利息	359
受取配当金	865
受取賃貸料	6,045
受取保険金	85
その他	3,943
営業外収益合計	11,300
営業外費用	
支払利息	3,873
株式交付費	8,565
株式公開費用	9,287
投資不動産管理費用	1,403
その他	55
営業外費用合計	23,184
経常利益	282,255
特別利益	
固定資産売却益	327
特別利益合計	327
特別損失	
固定資産除売却損	235
ゴルフ会員権評価損	4,307
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	915
特別損失合計	5,457
税引前四半期純利益	277,125
法人税、住民税及び事業税	149,966
法人税等調整額	△11,537
法人税等合計	138,428
四半期純利益	138,696

## 【第2四半期会計期間】

(単位：千円)

	当第2四半期会計期間 (自平成22年7月1日 至平成22年9月30日)
売上高	1,640,328
売上原価	1,341,717
売上総利益	298,610
販売費及び一般管理費	121,282
営業利益	177,328
営業外収益	
受取利息	109
受取賃貸料	3,022
受取保険金	85
その他	2,180
営業外収益合計	5,399
営業外費用	
支払利息	1,922
株式交付費	702
投資不動産管理費用	701
その他	9
営業外費用合計	3,335
経常利益	179,391
特別利益	
固定資産売却益	327
特別利益合計	327
特別損失	
ゴルフ会員権評価損	215
特別損失合計	215
税引前四半期純利益	179,503
法人税、住民税及び事業税	75,666
法人税等調整額	11,244
法人税等合計	86,911
四半期純利益	92,592

## (3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	当第2四半期累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	
税引前四半期純利益	277,125
減価償却費	40,176
のれん償却額	31,974
貸倒引当金の増減額(△は減少)	237
賞与引当金の増減額(△は減少)	11,258
その他の引当金の増減額(△は減少)	△2,500
退職給付引当金の増減額(△は減少)	3,131
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	3,140
受取利息及び受取配当金	△1,225
支払利息	3,873
株式交付費	8,565
固定資産除売却損益(△は益)	△91
ゴルフ会員権評価損	4,307
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	915
売上債権の増減額(△は増加)	△24,382
たな卸資産の増減額(△は増加)	△28,745
仕入債務の増減額(△は減少)	111,047
その他	679
小計	439,487
利息及び配当金の受取額	1,225
利息の支払額	△3,769
法人税等の支払額	△105,453
営業活動によるキャッシュ・フロー	331,489
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	
有形固定資産の取得による支出	△24,177
有形固定資産の売却による収入	2,841
その他	△10,991
投資活動によるキャッシュ・フロー	△32,328
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	
短期借入金の純増減額(△は減少)	4,000
長期借入金の返済による支出	△104,292
リース債務の返済による支出	△10,468
株式の発行による収入	277,756
配当金の支払額	△21,060
財務活動によるキャッシュ・フロー	145,936
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	445,097
現金及び現金同等物の期首残高	481,514
現金及び現金同等物の四半期末残高	926,612

**(4) 継続企業の前提に関する注記**

該当事項はありません。

**(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記**

当社は、株式会社大阪証券取引所 J A S D A Q 市場（現 株式会社大阪証券取引所 J A S D A Q（スタンダード））及び証券会員制法人福岡証券取引所への株式上場にあたり、公募による株式の発行を行い、平成22年6月23日に払込が完了いたしました。

また、株式上場に関連してオーバーアロットメントによる売出しに伴う第三者割当による株式の発行を行い、平成22年7月27日に払込が完了いたしました。

この結果、当第2四半期累計期間において、資本金が143,161千円、資本準備金が143,161千円増加し、当第2四半期会計期間末における資本金が281,661千円、資本剰余金が184,661千円となっております。